

行政報告

- ① 入札制度改革に「総合評価方式」を導入
- ② 乳幼児の医療費助成期間を拡充
- ③ 町内民間企業等と防災協定を締結

① 入札方式については、本年度から従来の「通常型指名競争入札」に加え、「簡易公募型指名競争入札」及び「制限付一般競争入札」を試行しながら、入札制度の改革に鋭意努力しているところです。

また、一般土木工事など町内業者のみで対応可能な工事については、入札に参加できる金額を引き上げましたし地域貢献などを入札に反映できる「総合評価方式」を導入しました。今後とも入札監視委員会等の意見を拝聴し、より適正、適格な制度にしていきたいと考えております。

② 妊産婦及び乳幼児の医療費助成制度については、県の制度拡大にあわせ、またそれ以上に医療費助成対象期間の拡

③ 防災計画策定の具体策の一環として、町内民間企業等と防災協定を締結しました。災害時の一次的な対応としての復旧資材、水や食糧等の対応など、建設業協会、コメリ、カラオ、マルトモの各業者の皆様のご理解、ご協力を頂いたところです。



請願及び陳情

◎私立高校への公費（私学助成）拡充で、学費と教育条件の公私格差是正を求める意見書

◎後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書

◎飼料価格の高騰による農家負担の軽減と国産飼料の増産循環型畜産の発展を図る施策を求める意見書

◎米国が主飼料のトウモロコシをバイオ燃料としたことから飼料の高騰が続き、畜産農家を直撃していることへの政府の対応策を求めるもの。

◎品目横断的経営安定対策の見直しと多様な担い

手の育成を求める意見書

編集室より

収穫の秋を迎え、稲の刈り取り後の田園風景の広がりが目立ちます。大きな被害もなく、作柄は昨年以上か、「天地の恵み」に感謝しながら実りの秋を満喫されている昨今では、と察します。気掛りなのは、JAより出荷契約者に支払われる仮渡し金額が大幅に下落し、稲作農家の皆さんには、不安や苛立ちがあるのではとの点です。今後の推移を注視したいと思います。

スポーツの秋でもあります。町内でも各種大会が目白押しです。「健康第一」これを機に、皆さん！各自が体力維持向上に努めようでは、ありませんか！

(波田野)



完成なった城山浄水場

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 波田野 泰博 |
| 副委員長 | 神田 八郎 |
| 委員 | 伊藤 武一 |
| 委員 | 清田 輝 |
| 委員 | 宮川 弘 |
| 委員 | 土屋 勝則 |

あがまち

議会だより



明治神宮献納米抜穂祭（上川東岐区）

主な内容

| | |
|--------------------|-------|
| 19年度9月定例会 | 2~3P |
| 委員会報告 | 4~ 5P |
| 一般質問 | 6~17P |
| 若者の意見・提言(津川区・三川区) | 18P |
| 特集(伝統・文化・史跡) 鹿瀬・上川 | 19P |

No.10
2007.11

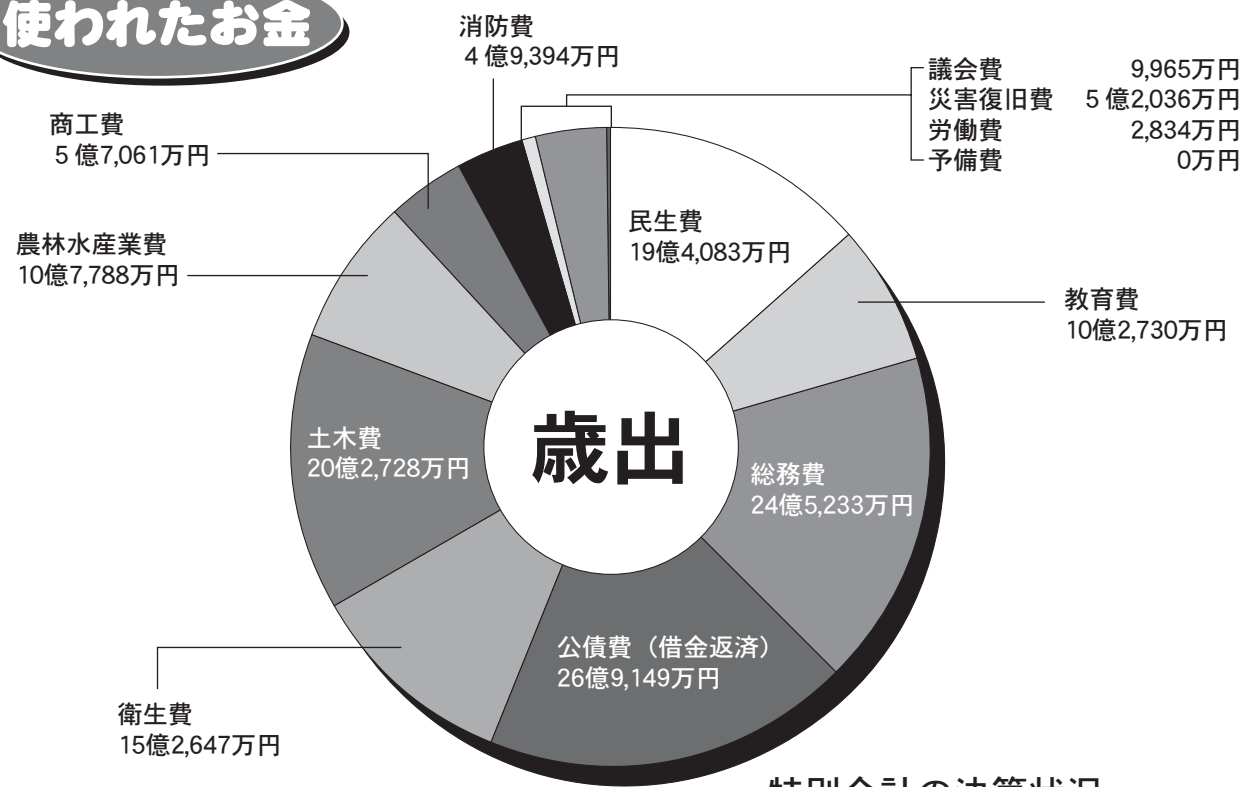
発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
発行責任者：議長 遠藤信也

※古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

平成18年度決算

| | |
|-------------|-------------|
| 一般会計 | |
| 歳入 | 151億3,838万円 |
| 歳出 | 144億5,653万円 |
| 差引黒字 | 6億8,185万円 |

使われたお金



特別会計の決算状況

| | 歳入 | 歳出 |
|----------|------------|------------|
| 国民健康保険 | 17億8,399万円 | 17億5,116万円 |
| 老人保健 | 23億5,357万円 | 23億1,940万円 |
| 介護保健 | 16億7,949万円 | 15億8,687万円 |
| 介護サービス | 2,366万円 | 1,760万円 |
| 診療所 | 3億30万円 | 2億9,255万円 |
| 簡易水道事業 | 7億177万円 | 7億89万円 |
| 下水道事業 | 14億865万円 | 14億775万円 |
| 工場団地造成事業 | 1,393万円 | 1,392万円 |
| 町営スキー場事業 | 9,222万円 | 9,194万円 |
| 水道事業会計 | 歳入 | 歳出 |
| 収益的収支 | 1億8,068万円 | 1億1,840万円 |
| 資本的収支 | 9億7,202万円 | 12億7,596万円 |



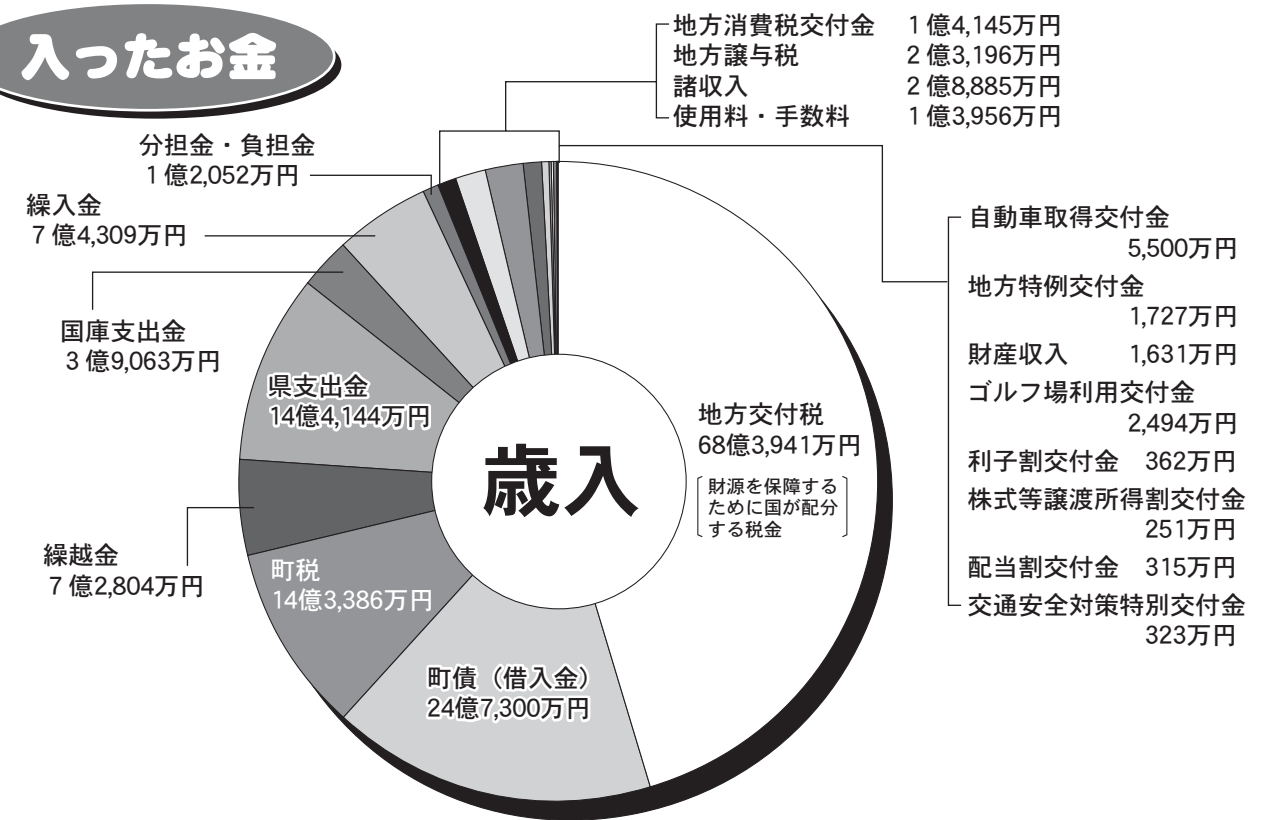
建設中の後地町営住宅



歳出総額 144億5,600万円認定

2007年 9月定例会 14~22日

入ったお金



平成18年度の主要施策事業 (抜粋)

| | |
|-------------------------------|-----------|
| アスベスト除去工事（七名小学校・上川中学校・三川小中学校） | 5,697万円 |
| ごみ処理対策事業 | 1億1,636万円 |
| 集落施設整備事業 | 1億700万円 |
| 緊急地方道路整備事業 | 1億2,533万円 |
| 災害対策事業 | 647万円 |
| 定住促進事業 | 551万円 |
| 妊産婦及び乳幼児医療費助成事業 | 1,627万円 |
| 各種がん検診事業 | 2,603万円 |
| 施設訓練支援事業 | 9,340万円 |
| 森林環境保全事業 | 7,837万円 |
| 文化財保護保存事業 | 7,480万円 |

決算審査 特別委員会報告

委員長 高橋 渡

去る9月18日の本会議において、本委員会に付託された平成18年度阿賀町各会計歳入歳出決算11件、ほか付属書類について、9月19日から4日間、9月20日から4日間、9月21日から4日間、9月22日から4日間の間にわたり、担当課からの説明のもと、質疑をおこなった結果、歳入面では、町税の不納欠損額が依然として多く見られ、税の公平性から時効消滅対策と相まって、差し押え等の方策も考える必要があること、また車輛の運行では、スクールバス、福祉バス等、各課別の対応となっており、系統的な運行がなされるべきなど多くの指摘がなされた。限られた財源で社会情勢に即応した事業・施策が展開される事を期待して、付託された各会計決算は、慎重なる審査の結果、全会一致で認定するものとした。

一般会計予算 1億44,887千円を追加し 142億16,817千円となる!

9月定例会議
補正予算
第2号

一般会計主なもの

- ◎ 限界集落29集落の中、15集落を調査。食糧費として……………7万5千円
- ◎ 平成20年度実施にむけ、情報ネットワーク整備事業実施設計委託料として……………7百56万円
- ◎ 中越沖地震被災地派遣等事業費として……………2百498千円
- ◎ 更生医療費（透析関係）給付費として……………5百28万円
- ◎ 寝たきり老人等在宅介護手当として……………3百4万円
- ◎ 幼児医療費助成事業として……………710万円
- ◎ JA新潟みらいへ野沢菜結束機整備補助金として……………1百5千円
- ◎ 郡史編さん事業として……………5百775千円
- ◎ あすなる森林公園整備工事費として……………1百77千円
- ◎ 清川高原2号館の施設修繕費として……………2百48万円
- ◎ 林道施設災害復旧工事費として……………3千3百981千円

委員会報告

総務文教

委員長 五十嵐 隆 朗

○阿賀町の遊休施設現況調査を8月27日、実施。

概要

対象一覧表69カ所中より、鹿瀬地区「ゆきつばき荘」、旧豊実小学校体育館、津川地区「元小川村役場」、元みさと保育園、「元家畜保健所」、上川地区「旧上条保育所」、上川中学校寄宿舎、三川地区「住民交流センターあがの荘」、「ひまわりの家」の9カ所について、施設内に入りそれぞれ説明を受け調査をしました。

まとめ

対象69カ所の全施設は、火災共済に加入し年約240万円、数カ所の借地については年約179万円の借地料を支出しています。視察した9カ所は各施設ともに傷みが激しく、一部アスベスト使用の



旧豊実小学校体育館

施設や、なかには老朽化して使用不可能と言えるものもありましたが、手を加えれば十分有効活用ができる施設もありました。この結果、火災共済加入の必要性の検討、使用していない借地の早期返還、倒壊の危険性が高い施設の解体について、総合的に評価し、遊休財産処分計画を策定し年次計画で対処していただきたい。今後は遊休地についても調査をしていくことが必要と考えています。

産業建設

委員長 高橋 渡

平成19年8月23日（木）に閉会中の所管事務調査を実施したので、その概要を報告します。

調査地

○群馬県吾妻郡中之条町・同六合村 薬王園（中之条町）

JA沢田に於て国、県、町の支援を得て平成8年開業、農地11ヘクタール、宅地2ヘクタール、山林11ヘクタールの計24ヘクタール薬草の生産、加工販売等14の事業を18名の農協職員で運営し、地域活性化の一翼を担っている。

山野草の生産（六合村）

昭和63年から村の活性化対策として数名により自生しているマツムシ草という山野草を栽培し東京へ出荷高価にて取引され現在は85名の農家により8種類の山野草を年間売上げ2億円を目指し生産に励んでいる。一方行政としても支援施設の花楽の里を整備し一体となって花き栽培の振興を図



地域活性化の薬王園

つている。まとも 両施設、事業を視察研修し阿賀町にも類似した施設もあるが成功に至っていない。この度の研修で共通することは農協が大きく関わっており行政と地域と三者一体となって産業振興の手立てが、今こそ必要な時期に差し掛かっているものと実感したことから、当地域としては一日も早い地域に合った特産品を模索し地域振興を図る必要がある。

社会厚生

委員長 山口 周一

管内の福祉施設・医療施設の現況調査を、平成19年8月3日（金）に実施した。

概要

1、グループホーム清川、シヨートステイ清川、清川デイサービスセンターは、完成間もない小規模介護施設である。高齢化が進む町にとっては頼もしい施設といえる。グループホームはすでに満床、シヨートステイ、デイサービスについても稼働したばかり、今後の活躍を期待する。

職員の採用、食材などの仕入れを地元優先に行うよう要望する。

2、ひまわりの家は、三川駅舎内に9月末完成予定である。JRの都合で改築工事の着手が遅れ、関係者の気をもませたがようやく目途がついた。JR、バスで通所している方の利便性、安全性の向上が図れる。

三川駅でもあり、三川の入口という観点から、外装の手直しと、2階の空き施設が有効利用できるよう検討を望む。3、津川、上川診療所は、診療日程が、



新装なったひまわりの家

週2日、週3日体制に加え、バスの運行も診療日程に合っていない。院外処方も町民になじめないのではと思える。 早急にバスの運行を見直し診療日程、診療時間などを、チラシ等でしっかりとPRを望む。



竜ヶ峰ふれあい農村公園 の再整備について!!

渡部 英夫 議員

町長

**安全で健康的に
過せる場を造りたい**

あの公園を設置した1人と
して今の利用状況に心を痛め
ている。あが野団地は三川地
域で一番子供の多いところで
あり、わかば保育園は120数名
の子供達がいるわけで、この
子供達が安全にして安心して
健康的に過ごせる場を造るこ
とについてはまったく異議は
ありません。状況をつぶさに



再整備が待たれる竜ヶ峰ふれあい公園

**公園側に
歩道整備を**

質問

わかば保育園前の横
断歩道を渡った公園側
に歩道が整備されてい
ません。公園の散策路

町長

地域の皆さんの利用を十分
考えながらやってきたつもり
でありましたが、車の進入を
妨げるよう車止め等の設置を
早急に対応し、より安全に利
用が図られるよう努めて参り
ます。

質問

**御前ヶ鼻農村公園の
安全確保について**

御前ヶ鼻農村公園の駐車場
は奥まで入れることから、怪
しげな車が時々駐車している
ことがあり、安心して子供達
だけで公園で遊ばせられない
との声を聞きます。進入防止
柵の設置と草刈りを行い見晴
しの確保を図って頂きたい。

町長

歩道の設置については、横
断歩道の移設を公安委員会に
お願いしながら、質問の趣旨
に沿った形で管理が行き届く
よう努めて参りたい。

質問

あが野ニュータウンの竜ヶ
峰ふれあい公園は、規模は小
さいながら遊歩道が舗装され
散策には快適な条件が整って
おり、わかば保育園児達の恰
好の遊び場となっておりますが
公園内の雑木林はクマザサが
繁茂して、残念ながらせつか
くの公園が有効に利用されて
いない状況です。わかば保
園の園児や、あが野ニュータ
ウンの子供達が公園内の雑木
林で自然との触れ合いに喜び
を感じられるような公園に再
整備して頂きたい。

質問

平らな広場の整備を

検討して対応しなければと思
っています。

質問

この公園には張芝が施され
た立派な広場がありますが、
この広場は傾斜が付いている
うえ管理が行き届かないため
草丈が長く伸び、見た目は大
変美しく見えますが、甚だ利
用しづらく、子供達が転んで
着替えに帰ることもたびたび
と聞いています。
この草に覆われた広場を勾



林業の将来と林道管理は

石田 守家 議員

質問

**林業後継者や
林道網は有効に**

自然林を含めた森林面積が
町では約95%近い。平成19年
度の林業施策基本方針は地球
温暖化防止森林吸収源対策と
併せ進められている。
森林環境税、個人住宅建設
の助成制度、造林保育補助制
度など広範囲な取組みもあり
ます。さて阿賀町全域の林業
経営面積、想定される
林家戸数はどの程度か。
即生活に密着している
林家はわずかと考えま
すが示していただきた
い。加えて林道数は何
路線あり、どう有効活
用されているのか伺い
ます。

担い手不足、低迷す
る木材価格に無関心な
後継者形態が加速して
いる。今日の林業経営
は後継者への財産維持
が実態、農業施策同様
深刻な状況かと思いま
す。また現状の林道全

体を有効に生かした地域起し
はほど遠い感です。
森林組合体制から森林管理
体系に移行されている昨今、
開設された各地の林道網は年
間を通して遊山者、いわゆる
山遊び等の不法侵入が大半で
ございます。
東蒲原林業の林業後継者と
その将来性、林道管理施策全
般について町長の答弁を求め
ます。



進まない森林間伐



林道管理は万全か

町長

**高齢化林業が
再生する絶好の機会**

後継者等に関する林業経営
面積、想定される林家戸数で
すが端的に5,300ヘクタ
ールほどです。林家戸数はお
よそ770戸で即生活に密着して
いる林家戸数という定義はご
案内の通り難しいと思います。

所有する100ヘクタール以上
の林家は8戸ほどです。
次に、林道は今年3月末現
在で71路線、総延長308キロメ
ートルあります。維持管理体
制、職員体制は3支所含め全
体5名体制でございます。
特に草刈作業については、
全長1回刈るだけで2,00
0万円ほどの経費が必要で重
要路線利用率の高い路線を重
点的に実施している現況です。
東蒲原林業、林道管理の現状
も木材価格の低迷、担い手不
足、中山間地林業の共通した
悩みでもあります。

地球温暖化対策による追い
風もあり、政府は今後6年間
に国土面積の1割近い330万ヘ
クタールの森林で間伐を進め
る方針です。高齢化が進む林
業が再生する絶好の機会と国
では言っていますが、既存の
制度と新たな制度を利用し後
継者にも明るい兆しが見えて
くるのではないかと、そのよう
な期待もし提言をいただいた
中、対策を立てて参りたいと
思っております。



農林地の荒廃対策

高橋 渡 議員

町長 もうかる農業の確立には農家の皆さん共々、行政として

建設業の新規事業に同感

めるのではないかと思います。建設業の新規事業として取り組

質問 もうかる農業の確立には農家の皆さん共々、行政として

質問 現在の農業と言えば水稲がほとんどであり、畑作物は自家用程度若しくは加工用野菜が組織だつて栽培されている程度。山林および自然林に至つてはそのほとんどが採算が取れず利活用されていないのが現状。6月の議会研修で高知県春野町を視察した折に荒廃した竹林等、いわゆる里山を再生する事業を研修しました。この事業はバイオマス日本再生事業であり農山漁村の活性化を図る事であり本年度から事業導入との事で自治体と民活を用いて地域活性化と里山の整備等を行なう事業であり当町に於て事業導入出来るなら建設業を始め各事業体への新規事業として取り組めるのではないかと思います。



荒廃した林地

町長 農業については農協と農家行政が一体となって取り組む必要があり、農と林の専門的な開発が出るよう推進したい。環境税については積極的に推進を続けて行きたいと思っています。

積極的に推進したい

質問 農林地の荒廃対策について、農と林の専門的な開発が出るよう推進したい。環境税については積極的に推進を続けて行きたいと思っています。

質問 農林地の荒廃対策について、農と林の専門的な開発が出るよう推進したい。環境税については積極的に推進を続けて行きたいと思っています。

町長 バイオマス関連の民間企業もありますし、町にも話がありますので情報交換をしながらやって行きたい。農業についても条件整備をしてやらないと出きないと思うので情報ネットワーク等ハードな部分がある程度めどがつけばそちらの方にシフトして施策を講じて行く必要があるということです。これは重々承知致しております。

情報交換をしながら検討したい

質問 バイオマス関連の民間企業もありますし、町にも話がありますので情報交換をしながらやって行きたい。農業についても条件整備をしてやらないと出きないと思うので情報ネットワーク等ハードな部分がある程度めどがつけばそちらの方にシフトして施策を講じて行く必要があるということです。これは重々承知致しております。

質問 バイオマス関連の民間企業もありますし、町にも話がありますので情報交換をしながらやって行きたい。農業についても条件整備をしてやらないと出きないと思うので情報ネットワーク等ハードな部分がある程度めどがつけばそちらの方にシフトして施策を講じて行く必要があるということです。これは重々承知致しております。



わが町の将来像と町政について

宮川 弘 議員

町づくりビジョンは

質問 合併して2年8カ月が過ぎ町長に就任して9カ月が経過した。財政難でもあり、少子高齢化、人口減少、自立を求められる分権化の中にあつてこの町の特性を生かして、どのような町づくりをしようとしているのか。

目標は癒しの里づくり

町長 町の総合計画を機軸としてあらゆる地域資源を有効活用しながら、少子高齢化に対応した医療、福祉及び教育環境の整備、農林業、商工業、観光業等の産業振興、道路、水道等のインフラ整備に積極的

に取り組み、より活気に満ちた、究極は町民から、我が町は癒しの里だと評価されるように事業を推進してゆく。

山菜等の栽培の育成と農業公社の充実を

質問 我が町の97%を占めている森林原野に関連した山菜等の栽培事業を育成して、他町村と差別化された活気ある町づくりは考えられませんか。

町長 何はさておき、このような事業は行政主導だけではだめです。いかに地域の皆さんがやる気をもってこれに取り組みかだと思えます。

質問 農林業はすべて担い手の問題だと考えます。個人的に経



活躍する農業公社

阿賀の里がイオンに出店

情的なリスクが大きいため、情熱や使命感だけで、專業とすることができません。農業公社の充実をはかつて、この豊かな自然、肥沃な土地を生かし、働く場ができれば一石二鳥ではないですか。

町長 農業公社はもう手いっぱいです。農業公社にかわる会社でも協同組合制でも、もし希望があれば、育成するよう努力したい。

質問 町内のある方から、近く大型店のイオンが亀田にオープンするので、その中に出店しないかとお誘いがあり、単独では無理なので、断らざるを得ないが、もったいない話なので相談に乗って欲しいとの話があり、それが阿賀の里の出店となりました。将来この店は、我が町の広告塔となりアンテナショップ的な存在となると思います。この店の一番の売上に貢献するのは、我が町の特産物として山菜であろうと思います。そこで再度お尋ねします。山菜を我が町の町おこしに利用することを、重点施策にする考えはありますか。

住民の福祉向上と行政評価方法の確立を

質問 知識創造社会とか知識産業社会と言われて久しいですが、知識労働者の生産性向上が、我が町にとっても最大の課題です。我が町においても、知識労働者集団の最も大きいところが、住民に役立つところのこの役場です。この役場の生産性向上が住民の福祉向上になるわけですが、ここに働いている職員はすべて住民の福祉向上を職務としています。そこで町長にお尋ねいたします。この頭脳集団である職員をして、住民の福祉向上の成果をあげるため、どのように目標を熟知させ、その成果を検証しておりますか。

町長 あらゆる面に対応してゆけるよう意識改革をし、それぞれ職員の得意な分野もある中で、それぞれの希望をする仕事を聞くことも考えてみたいと思っております。そしてまた、行政の効果がさらなる住民からよくやられたと言われるように、前向きに取り組んでいきたいと思っております。

とりあえず森林環境税の導入を

研究チームを創設、模索を

質問 当町に於て新規作物の導入はいくつか例はあります。肝心の農協の体制が今ひとつ足りないような気がします。農業の振興に力が入っていないので購買等へ力を集中しているのはいかがなものかと思えます。町の自然林は無尽に近いものがあります。近隣の山形福島両県ですでに森林環境税を導入して自然林の間伐を始めており相当の成果を上げている訳で早急なる導入を考えるとありますがその状況をお聞かせ願いたい。

質問 公共事業が減り建設業の皆さんは大変な事態だと思います。大手ゼネコンではコンビニで経営している所もあり、雇用の場確保に躍起になっています。現に町で建設業を営む傍ら大規模農家の方もおります。林業に於てはバイオマス事業の研究チームの発足を望みますが如何か。



ゆとり教育 学習指導要領が改訂、中教審提示 当町の教育方針は

伊藤 武一 議員



総合学習のひとつ

町の教育方針は
 質問
 ゆとり教育週休2日制の施行、総合学習を取り入れ正規の時間割りで取り組んでいる今日であります。学力低下が懸念され、中教審は、ゆとり教育の修正を提示している。特に必修科目の6教科の学力低下が懸念され、授業時間1割から2割程度増す素案を発表している。当町児童の学力の実態はどうか。
 総合学習の成果と時間割り

総合学習の成果について
 総合学習の成果についてはふるさとの自然文化等に目を向けたり興味を持ちたりする子供がふえ、環境の整ったところであり総合学習を取り入れられ、正規の時間として取り組むことができ成果がございました。
 学習指導要領改訂必修科目の1割程度時間が増すとされています。

教育長
 当町児童生徒の学力の実態を客観的につかむためにいろいろなテストをやっております。NRT、CRT、全県学力調査、全国学力調査等々やっております。この中で最も標準的なNRTの結果で子供の様子を見ますと全国平均にどの学年も、どの教科も達しています。学習指導センターの成果が大きいと思います。

町道長木・広沢線の冬期間の除雪を
 質問
 合併前からの地域の懸案事項の長木・広沢間の降雪時の除雪であります。
 合併前は行政区の違いから実現できず今日に至っている。昨年と同じお願いを致しました。地域住民の要望に応えることはできないのか伺います。
 町長
 昨年実現していなかったわけであり、今年も担当者に指示致しました。ただ、常時早朝除雪は今のところ考えられません。

素案骨子 (中学校部会)

- 道徳教育の充実
- 社会科で納税や勤労の義務、世界各地の宗教が持つ特色の指導充実
- 総合学習は卒業論文などの学習活動を例示
- 選択教科を縮減し、必修教科の時間数増
- 国語は3年を中心に授業時間数増
- 社会科は3年を中心に授業時間数増
- 数学は1、2年生を中心に授業時間数増
- 理科は2、3年生を中心に授業時間数増
- 外国語は全学年を見渡して授業時間数充実
- 保健体育は3年間を通して授業時間数増
- 総合学習は各学年で週1時間授業時間削減
- 各学年の総授業時間数は週1時間程度増加



後期高齢者 医療制度運用の改善を

薄 巖 議員

改正後の要旨

新しい制度は、高齢者を75歳以上の「後期高齢者」と65-74歳の「前期高齢者」に分けて、後期高齢者だけの医療保険制度にする。
 ○今までの保険者を市町村から、県一本の広域連合にする。
 ○75歳以上全員から保険料を徴収する。
 ○年金から保険料の天引きする。
 ○滞納者の保険証を取り上げる。
 ○70歳-74歳は2割負担とする。
 ○75歳以上の医療制限を検討する等々大きく変わります。
 今までは、75歳以上の方、
保険証の取り上げは行わないこと
 質問
 年金が低く保険料を直接納める人が1年以上滞納すると保険証が取り上げられる「資格証明書」発行の対象者になります。

慎重に対応する

国民健康保険ではそのようなことがありませんでした。まさに金の切れ目が命の切れ目となる不安が現実的なものとなります。
 町長の見解を伺います。
 町長
 資格証明書の発行につきましては、私どもはこれまでどおり安易に機械的に交付することなく、滞納する事情等を見極め、細かい相談をさせて



もりあがる敬老会

健診は後退しないよう

いたたく中で、広域連合との連携を密にしながら慎重に対応していかねければと思っております。
 質問
 後期高齢医療制度では「75歳以上の高齢者の健康診断は努力規定」にすぎなくなりまして。
 今まで通り健診や保健指導が高齢者に実施されるよう「広域連合」に求めることとあわせて、町の行っていた住民健診を後退しないよう対策を立てて頂きたい。
後退しないようすすめる
 町長
 新潟県方式ということで各方面関係が成人病予防協会を中心に、全国的にも類を見ない健診方式で、全県同一方式で実施してきたこと

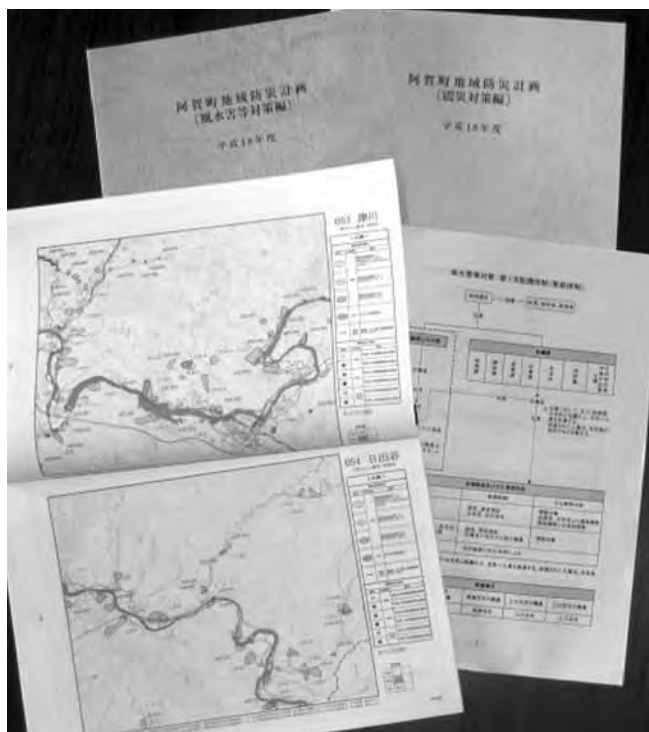
制度の周知を

今後は今までの機関、団体等で構成する新潟県健診保健指導支援機構という団体を立ち上げまして、実質今までと変わらない内容で実施するよう、県下市町村が広域連合に申し入れをし、その方向で進められるよう国へ交渉していただくところでございます。
 現在行われている基本健診の内容より後退しないように進める所存です。
 質問
 この制度に対する関心は高いものの制度自体知られていない。とりわけ来年4月から対象になる高齢者一人一人に対する周知が急務です。
 町の取り組みを伺います。
チラシ等で周知
 町長
 高齢者の皆さんに何と何を知ってもらわなければならぬに絞ったチラシを配布したい。



防災は訓練により 住民への周知を図れ!!

猪俣 誠一 議員



町防災計画

ハザードマップを 活用し実施

町長
ハザードマップの策定を進

本県は3年たらずで2度にわたる大地震を経験し、住民の防災意識も相当に高まりを見せている。町の地形型上、道路網の寸断等により、医療・療養・介護への影響も懸念される。早期に訓練により住民への普及啓発を図るべきである。

めており、マップを活用し、住民の防災意識の高揚を図りながら、防災関係機関との連携を図り、訓練を実施する。災害時の予防応急対応、および応急復旧の応援業務や作業物資・飲料水や食糧の供給確保を図るため、建設業協会津川支部やNPO法人コメリ災害対策センター、榎シヨツピング津川、榎マルトモと防災協定を締結した。職員情報伝達訓練の実施後中越沖地震が発生し、検証した格好になったが、連絡体制

改訂には問題あり

教育長

議論を尽くさず、聞かないうちに答申が出ていることは

非常に問題がある。時間不足を一人一人の子供に負担をかけずに実現してゆくには、土曜の復活以外にはないと思うが、週の中でふやしてゆくということであり、子供も教師も負担がふえてくる。これをどうするかが、国と我々現場の問題である。素案は要綱の内容等が明確ではなく、具体的に見えにくく難しい問題である。大切なことは、各学校・教育委員会での具体的な取り組みを確実に実行し、効果を上げるのが第一歩である。指導方法の改善・工夫を図ることや学習指導センターの支援をさらに充実し、学習意欲の高揚や家庭学習の習慣化は難しいが、教師とともに研究・工夫し、それをサポートしてゆく。



医療と福祉が定住の鍵

神田 八郎 議員

夕張市と 類似する阿賀町

質問

先日、財政再建団体に移行した夕張市で奮闘する村上智彦医師の放映がテレビでありました。当地の総合病院がこの19年度より公設民営化され「医療法人夕張希望の杜」として再スタートし、村上医師に委託されることになりました。

9科体制から内科、整形外科、リハビリテーションの3科のスタートで、人工透析科も33人では採算が取れないと村上医師は廃止の苦渋の選択をしました。氏は予防医療の重要性を訴えて、訪問診療を力説しております。「この町のすべての住民が元気にな

(1) 県立津川病院と町内4つの

県立病院と診療所のあり方 については年内にでも 勉強会を持ちたい

町長

在宅医療を支援する為、昨年の11月から訪問看護ステーションを設置し、現在3名の看護師が1カ月平均100件の訪問看護を担っています。今後の理想的な医療体制整備、構



当町医療の中核である県立津川病院

築については、現在吉嶺院長を始め診療所の阿部、小川両先生と勉強をしている最中であります。県当局、病院局等とも事務局で連絡調整をしている段階ですが3人の先生方も真剣に考えてくださっておりますので、できれば年内にも議員皆様との勉強会を持てればと思っております。

次に当町の8月末現在での65歳以上人口は5,700人高齢者のみの世帯は1,800世帯、ひとり暮らしの高齢者は約1,000人にそれぞれ増加しております。施設への待機者も150人程おり、行政だけでこれらに対応していくのは中々難しい点もあります。できればもう少し知恵を出して、地域の集会所、遊休施設また大きな民家等もある訳です。それらを利活用した小規模介護事業等を考えております。

するのは難しい時代です。業者の足を引っ張らない程度に、町村合併もなった訳です。で「シルバー人材センター」を大いに活用してはどうでしょうか。また、先程の遊休施設の利用等についても、行政がすべてやるというのは困難な面もあるでしょうから各地域の元気なお年よりの人達に方向づけ、助言をしてやるということも大事なことがあるかと思

人材センターの 一層の充実に期待

町長

合併になった現時点では、大勢の皆さんから人材センターに入ってもらって、もう少し強力なシルバー人材センターになってもらった方が良く思っております。そして人材センターにふさわしい仕事を担ってもらうことも大事なことで思っております。

シルバー人材 センターの活用を

質問

ボランティアだけを当てに

ゆとり教育は 子供のためか!

質問

学習指導要綱改訂の素案が中央教育審議会に答申され、授業時間がふえ、ゆとり教育の始まる前にせまる時間数となる。週5日制の中で行なうことは、子供の負担が大きくなる事が容易に想定される。

また、学習効果等でわかるように、週5日制がまねいた学力の低下への反省が全然ない。限られた教員数で運営される僻地校であり、この改訂で教員の確保が容易になるとも考えられず、これにより「生きる力」が育成されるとも考えられない。基礎学力の向上や指導要綱の目的が達成できるとは思われないが、教育委員会



公共施設の防犯対策と健全育成について

星 公司 議員



防犯対策強化を

防犯対策の強化を図れ

【質問】

文化福祉会館において窃盗事件が発生していますが、他の公共施設を含め、こじ開けに対する感知システムや防犯カメラ等での防犯対策強化と警察など関係する機関とも連絡を密にし、より一層の犯罪防止に取り組む必要があると考えます。

警備依頼を協議中

【町長】

今回、迅速な対応をとる事が出来なかったことは否めない事実であり、現在警備会社に警備を依頼すべく内容協議を進めているところです。

また、他の公共施設も同様に再度所管各課に調整させ、行政も警察等関係機関と連絡を密にし、犯罪の未然防止により一層の取り組みを展開しなければと思っています。

有害サイトに注意を

【質問】

児童生徒が安心して、不安のないそしてまた楽しく学校生活が送れるようにと、誰でも思うのは常であります。しかし、情報化社会の到来に伴って携帯電話などによる有害サイトに遭遇する機会が児童生徒にも多くなっていると思われまます。

犯罪に巻き込まれる事のないよう学校、家庭、地域が一体となり注意を喚起する必要があります。

給付券を有効的に使えるように

【質問】

介護用紙おむつ支給について現在、寝たきりの在宅介護の家族に対して支給される、紙おむつは現物支給されている地域と給付券を支給されている地域に分かれております。給付券は、1カ月4,000円となっております。利用は紙おむつ代のみ購入に限られ、全額分使い切れず、残金が発生し、ムダになってしまいうケースがあります。利用者からの要望として、給付券を有効



使われている介護用品

取扱い業者との関係も踏まえ、現物給付による利用者への便宜を図っておりますが、購入券の利用に関しては、利用される住民の方、あるいは他の皆さんからの意見を受け入れながら、改められるものについては、十分な配慮をまいりたいと思っております。

【町長】

紙おむつ事業について、該当になる紙おむつの種類は多く、料金も異なり、1カ月4,000円の給付費では利用者の使用回数などで、給付費の範囲内で納まらない場合も当然発生する。事業本来の目的は、紙おむつ等の購入に係る費用の一部を助成し、介護にあたる家族の負担軽減を図ることです。当町においては、一律に実施しており、在宅福祉の向上につながるものと考えております。



有害サイトから子供を守ろう

携帯電話の持ち込み原則禁止

【教育長】

最近の児童生徒を取り巻く環境は憂慮すべき状況で、特に大人が環境悪化に大きくかわっている例があり問題は大変深刻であります。町立小・中学校では、携帯電話の持ち込みは原則禁止しています。

使い方によっては被害に遭ったり、いじめのきっかけになったりすることがあり、安易に持たせないようにする。持たせる場合でも共同管理にするなどの約束をし、正しい活用ができるように指導する

いじめ・不登校は最重要課題

【教育長】

ことを学校に指示していることと思っております。有害サイトの中身とか、日ごろの防犯活動について書いてあるチラシを全保護者に配布の予定です。携帯電話以外の面での子供の安全では、学警連が中心に取り組んでいますが特に警察署の方が協力的で感謝しているところです。

いじめ・不登校については県および、町も最重要課題として取り組んでいます。教育委員会では、いじめ・不登校対策委員会を設置し、4地域で年2回を原則行い、情報収集と、それを地域に発信をし、さらに2つの中学校に悩みごとや相談などに心の相談員を配置、不登校の場合は適応指導教室を設け取り組んでいます。今後は優しい心と同時に、心の強さというものも育てるよう各校で取り組んでいます。



細越区
阿部 恵美子

若者の意見・提言

津川2区 匿名

今日の自治体でも、少子高齢化が最大の課題となっています。阿賀町は、その対策としてこの度、小学校卒業まで医療費助成が、この10月から行なわれる事になりました。新潟県では、聖籠町に続いての取組なので、行政の判断には頭が下がります。さて、いじめの問題やその他子供達を取り巻く環境は、ひと昔前とでは、まったく様子を変えています。子供達の社会性や自立を促す為には、世代間の交流がとても重要な役割を果しています。

阿賀町では、スポーツクラブ等色々な活動をしているので、子供達の成長に大きく影響していると思います。阿賀町は、緑豊かな自然に恵まれています。一年を通じて様々な、活動に大勢の人達が参加をしているので、とても良い環境だと思えます。この広大な自然を使って、大勢の人達の憩いの場になるような公園づくりをお願いしたいと思えます。



阿賀町の宝

たいと思えます。阿賀町は、まだ合併して2年余りです。どのような形で、町が変わっていくか、とても楽しみです。若者が定着していける、仕事場の確保、子育て支援等、問題は山積かと思えますが、町の活性化を図って住み良い町づくりを皆でやっつけていかなければいけないと思えます。

自然豊かな阿賀町。もちろん、それは素晴らしい事ですが、今の世の中自然があふれ静かな町だからいいとばかりは言っていられません。せっかく雄大な山や川に囲まれているのだから、それを利用して大規模な公園、もしくはレジャー施設を建設できないものでしょうか？

今、町にはいくつかの公園があり、私も時々子供を連れて行きますが、どこも中途半端な設備で子供もすぐ飽きてしまいます。以前、他県に旅行に行った時、サイクルセンターがあったのですが、遊園地のようなつくりで、でも機械で動かすのではなくて、すべて自転車を利用しペダルをこいで動くようなしくみになっていて、とてもいい運動になりました。町のB&Gのあたりは今あまり利用する人もいなく、草だらけのようですがそういう所を利用してサイクルセンターとまではいなくても、なにか他の事に使ったらどうかと思います。せっかくな



閑散とした公園

い土地があるのにもっと色々なものを作れば観光客も来るでしょうし、町の活性化にもつながると思います。これからは、どんな人々を呼びこんでいかなければ、町は寂れるばかりになると思います。新しい事に目を向け、若者が定住できるような未来ある町に、と願います。

書家耕南生誕地碑 《上川編》

9月29〜30日の2日間にかけて、長谷川耕南先生を偲ぶ会が挙行されました。門下生40名が、耕南先生生誕地、栃堀長谷川徳雄氏宅に来訪「耕南生誕地碑」を囲み、先生の偉大さを語りあつたそうである。

当主長谷川徳雄氏から耕南先生について聞く機会を得ることができました。

耕南先生が育つた時代はゼンマイ、ワラビ、養蚕で生計をたてた頃としく。当時新聞紙は、養蚕に欠かせない必需品でありましたが耕南先生はその新聞紙に筆を根元まで嘔潰して何やら書きまくっていたという。当時5歳位から書に興味を持っていたという。耕南先生は18歳で裸一貫笈を背負ってふるさとを出て上京する。昭和初期の激動の時代にあつて、天性稀なる書の道において、現在の日本鏡



耕南生誕地碑

院の前身である墨林会を創設され、宮内庁を始め、大文学講師、衆議院警察庁の書の師範を勤めその門下生1万人に及ぶという。昭和31年の大水害の犠牲者を悼み郷里に六地藏尊を奉納し偉大なる書道の大家でありながら人情の深さが伺える。先生の名声がこの碑ともにとこしえに輝き、この郷土の上に無限の向上と繁栄を招来されますことを祈念いたします。

地域の伝統・文化

さすらいの丘 《鹿瀬編》

《会津藩家老保科民部正興の墓》

江戸時代、会津藩内の小川庄（東蒲原郡）には、政争に敗れた家老、藩士が多く流されてきた。鹿瀬水沢の高松家の裏山は、古くから「さすらいの丘」と呼ばれている。うっそうとした杉木立に囲まれた大きな墓石が立っている。

保科正興は会津藩主の分家筋に当たり家老職であったが、藩の政争に敗れて失脚し、貞享3年日出谷村水沢に流され高松家に蟄居した。文武両道に優れた正興は、村の子供たちに読み書きを教え、近郷が干ばつに見舞われると近く山へ登って雨ごいをするなど、村人からは「民部さま」と呼ばれて尊敬されたという。正興は、許されることなく元禄2年水沢の地で没し、高松家の裏山に葬られた。そ

の時に建てられたと思われる旧墓石は、人の手によつて十字に切断され今もそのまま地面に置かれており、争いのすさまじさをそこに見る思いがする。正興が詠んだといわれる辞世の歌が高松家に残されている。

ほたるひを
したへとくらき
なつこのよの
まつかせをちつ
さすらいのおか
と詠んだ各句の語頭、語尾を横読みすると「ほしなまさおきのつか」となることや、それにまつわる秘話などが残され、今もさすらいの丘に眠る正興の悲哀が語られている。



保科正興の墓



四つ割りの旧墓石

(にいがた
歴史紀行よ
り抜粋)